

あなたのまちでも

エコ交通マップを

つくってみませんか

～クルマに頼りすぎない「交通エコライフ」をめざして～



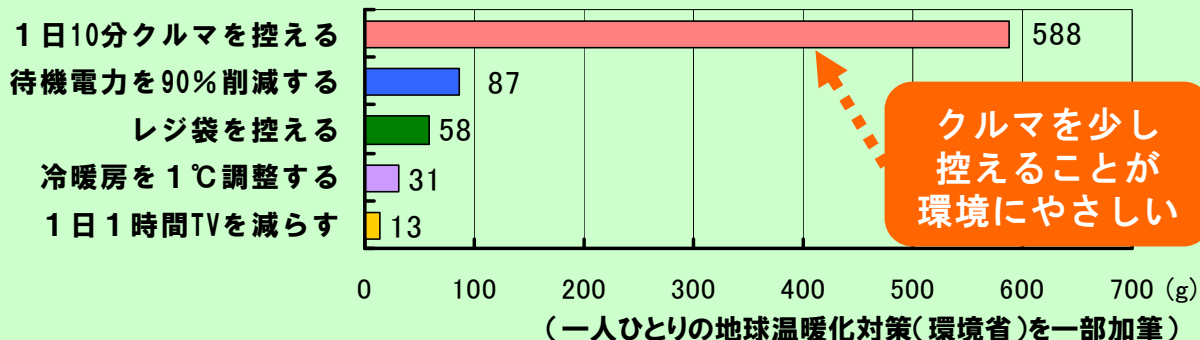
買い物、レジャーへ行く時に、
ついついクルマに頼っていませんか？
実は、バスや鉄道を使
ってみるとけっこう便利かも！？
地域のみんなで話し合ってそのこ
とを知るために、
「エコ交通マップ」をつくってみ
ませんか？
きっと思いがけない発見がある
はず！！

交通エコライフの必要性

「環境にやさしい暮らし」をするためには、何が重要だと思いますか。電気をこまめに消したり、レジ袋を断るなど、幾つか考えられますが、「クルマを少し控える」ことが、実は格段に環境にやさしいのです。

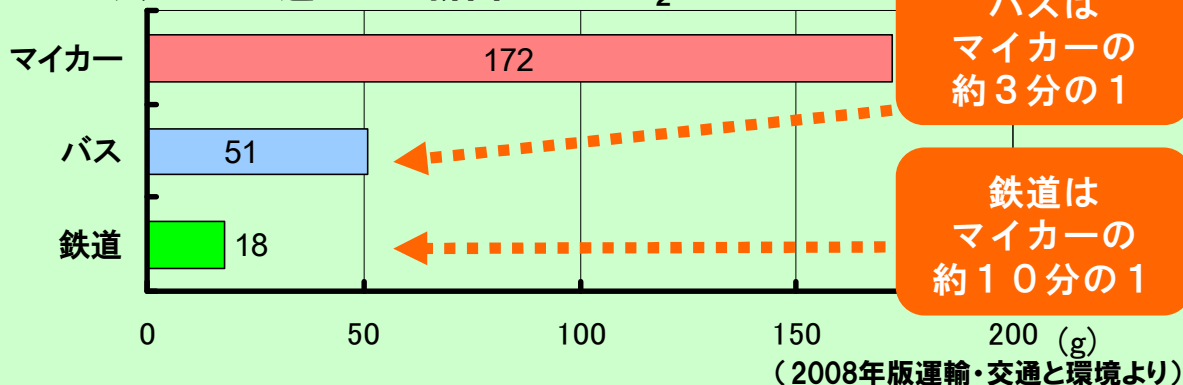
「バス」や「鉄道」を利用すれば、地球温暖化の原因となる二酸化炭素（CO₂）をあまり出さずに移動できるので、日常の交通行動を、クルマ偏重から、バス・鉄道・徒歩・自転車をかしこく使い分けるスタイルへと変えていく、「交通エコライフ」の実践が求められています。

▼一年間で削減できるCO₂の量



クルマを少し控えることが環境にやさしい

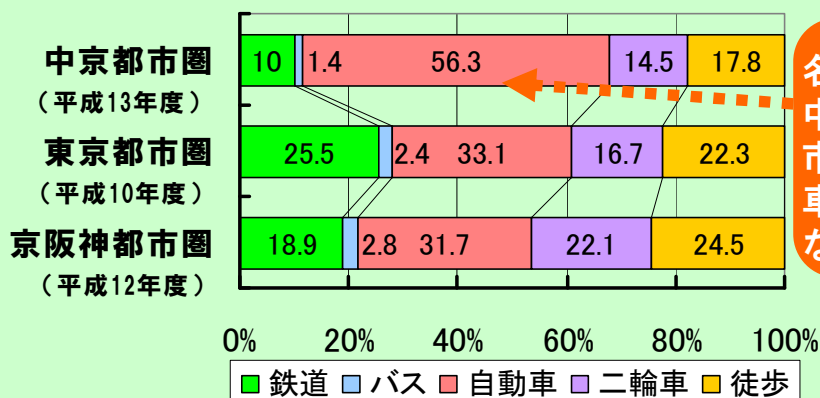
▼一人を1km運ぶのに排出するCO₂量



バスはマイカーの約3分の1

鉄道はマイカーの約10分の1

▼三大都市圏の代表交通手段別利用率



名古屋市を中心とした中京都市圏は、三大都市圏の中でも特に自動車への依存度が高くなっています。

※上記の「自動車」は、「マイカー」と「社用車」を含む。(パーソナルリップ調査より)

エコ交通マップとは？

「エコ交通マップ」とは、交通エコライフを実践するための手助けとして、バスや鉄道のルート、歩いて楽しいところ、自転車のおすすめルートなどを落とし込んだマップのことで、エコ交通マップをつくるために市民のみなさんが自発的に考え、取り組み、

(1) まち歩きをすることで、

わがまちの交通事情を再確認することができます！

(2) 自分の交通行動を振り返り、クルマ利用を減らすことができないかを考えてみることで、

交通行動スタイルを変えるきっかけとなります！

(3) マップづくりで出てきた意見を取りまとめることで、

バス・鉄道の使いやすいまちへの提案をすることができます！

(4) お祭り、地元の人気のお店、季節の花など楽しさの要素を加えることで、

地域の魅力のアピールにつながります！



エコ交通マップをつくるには・・・

(1) 事前学習をしっかりとしましょう。

- ・情報収集や現地見学により、バス・鉄道について勉強しましょう。
- ・より詳しく勉強するため、専門家のアドバイスを受けましょう。
- ・勉強会を開き、情報収集・現地見学、専門家のアドバイスを参考にしましょう。

(2) 多くの人々の意見をマップづくりに取り入れる手法として、**ワークショップ***が有効です。

※ワークショップとは、まちづくりの手法の一つで、参加者が自由に意見を言いやすいように工夫された場で、経験や意見や情報を分かち合い、議論や合意形成を行うことです。



ワークショップは手順が大事

マップづくりのために行うワークショップは、大きく次の段階に分かれ、それぞれポイントがあります。

- | | | |
|----------|--------------------------|--------|
| (1) 準備段階 | → 「マップづくりの準備をしよう！」 | 3 ページへ |
| (2) 企画段階 | → 「マップづくりのスケジュールを立てよう！」 | 4 ページへ |
| (3) 運営段階 | → 「マップづくり当日は、雰囲気づくりが大事！」 | 6 ページへ |

さらに、ワークショップの成果を今後活かすことが重要です。

さあ、あなたのまちでも エコ交通マップをつくってみませんか

マップづくりの準備をしよう！

○エコ交通マップをつくる目的を明確にしよう

- ・ワークショップの参加者だけでなく、様々な理由で参加できない人にも交通エコライフの必要性を伝えるため、マップづくりが有効です。

エコ交通マップに入れる情報は・・・

●必要な情報

- ・バス・鉄道のルート、バス停、鉄道駅
- ・歩いて楽しいところ、歩きやすいところ、自転車のおすすめルート
- ・公共施設、スーパーや病院など普段行くところとその駐輪台数
- ・交通事故の多いところやいつも渋滞するところ など

●あったら面白い情報

- ・地域の名所、おすすめスポット、地域の祭り
- ・桜や紅葉などがきれいなところ など

○事前に調査や情報収集をしよう

- ・道路地図、住宅地図を入手し、施設の配置や道路状況をチェックしましょう。
- ・バスや鉄道の路線、時刻表をチェックしましょう。名古屋市交通局のホームページには、市バス・地下鉄の路線図、時刻表だけでなく、最寄のバス停や地下鉄駅から目的地までの経路、所要時間、料金などがわかる「なごや乗換ナビ」や、地図上から市バスや地下鉄の経路検索などができる「なごや地図ナビ」があります。
- ・実際にバスや鉄道に乗車し、使いやすさ（使いにくさ）を体感しておきましょう。
- ・現地を歩いてみましょう。昼間だけでなく、朝・夕に歩いてみるとクルマの交通量や渋滞、道路の暗さ等昼間では気づかない発見があります。

○ワークショップの準備をしっかりしよう

- ・資料のコピー代、会場の借り上げ代などの資金を確保しましょう。
- ・ワークショップの会場を確保しましょう。
- ・できるだけ多くの人々に声をかけ、参加してもらいましょう。
- ・スケジュールを立てましょう。



ここがポイント！

平成20年9月から11月にかけて天白区池場地区にて行われたワークショップでは、「交通エコツアー」で名古屋港ワイルドフラワーガーデン・ブルーボネットを訪れました。その1ヶ月前には、スタッフがブルーボネットを下見したため、当日はスムーズに進行しました。



マップづくりのスケジュールを立てよう！

ワークショップの回数を重ねるごとに、交通エコライフへの理解が深まるようスケジュールを立てることが大切です。

まち歩きやバス・鉄道の乗車体験など、体験の要素を必ず取り入れましょう。

＜マップづくりのスケジュール例＞

第1回 顔合わせ・基礎学習

名古屋市の出前講座等を活用し、交通、環境について学習

ねらい：まずは、名古屋の交通、環境について学び、現状を理解しよう。

第2回 日常の交通行動の話し合い

一人ひとりの一週間の交通行動をテーマに話し合い

ねらい：各自が自分の交通行動を振り返り、クルマ利用をバス・鉄道利用に変更できないかを考え、みんなで話し合おう。

第3回 まち歩き1・マップづくり

わがまちのバス・鉄道の状況を確認しながらエコ交通マップの原案づくり

ねらい：いよいよマップづくりを行います。みんなの意見をまとめると、新たな発見があるかも。バス停の位置など知らないことも気づきの一つ。



第4回 バス・鉄道乗車体験

わがまちからバスや鉄道に乗り、遠くへお出かけ

ねらい：いつもと違い、気軽に、楽しく参加できるプログラムを混ぜて小休止。楽しみながらバスや鉄道に乗車し、意外と便利だということを体験しよう。

ワンポイントアドバイス

みなさんが参加しやすい、曜日、時間を考えよう。

参加者のみなさんが予定を立てやすいよう、第1回が始まる前に、全ての回の**日程と会場をおさえておこう。**

参加者の「気づき」が大切。そのため、各回の**「ねらい」を明確にしておこう。**

たまには簡単な宿題を出し、日常的に交通情報を意識してもらえような**仕掛けを考えよう。**

当日の乗車体験の前に**下見を行い**、乗車体験の行程やまち歩きのコースを想定しよう。

第5回 まち歩き2・マップづくり

つくったエコ交通マップの原案をもとに現地を歩き、
まちのよいところと課題を点検し、気づいたことを地図に書き込み

ねらい：エコ交通マップを片手に歩いてみると、まだまだ気づかないポイントがあるはず。通りすがりの人に声をかけ、更なる発見とマップづくりをしていることを知らせよう。

第6回 エコ交通マップ完成

みんなの意見をまとめ、エコ交通マップを完成

ねらい：最終回はマップの内容を確認してよりよいものに仕上げよう。ただし、マップづくりが最終目標ではなく、これから本格的な「交通エコライフ」のスタートだということを改めて確認しよう。

ワンポイントアドバイス

まち歩きの際に通りがりの人に話を聞いたり、ニュースを作成して地域で回覧したり、ワークショップに参加できない人たちの声を聞く方法を考えよう。

エコ交通マップをとりまとめるためのテクニック

参加者から様々な情報が出てきた時は、全ての情報を入れるのではなく、適した情報を選んで見やすいマップにしましょう。

＜特に入れた方がよい情報は？＞

- ・マップをつくる人以外の地元の方が見て、役に立つ情報
- ・歩きやすい道等できるだけ良い情報
- ・見てもらえるように楽しい情報



マップを見ることによって移動手段をクルマからバス、鉄道、徒歩、自転車に変えようかなと思わせる仕掛けを考えよう。

マップづくり当日は、雰囲気づくりが大事！

○参加人数に応じてグループ分けをしよう

- ・5～10人程度で1グループを構成すると、様々な意見が出やすい適度な人数となります。参加人数に応じ、グループ分けを考えましょう。
- ・スケジュールに合わせて、机の配置など会場のレイアウトを工夫しましょう。

○ワークショップの役割分担を決めよう

- ・ワークショップ当日は、全体進行、グループ進行、書記など、スタッフの役割を分担すると、スムーズに進行できます。

○ワークショップの結果をまとめ、グループごとに発表しよう

- ・各グループで話し合われた内容を共有するため、当日の最後には、必ず発表の時間を設けましょう。

○参加者に楽しく参加してもらえるような雰囲気づくりをしよう

- ・ちょっとしたゲームを入れるなど、楽しさの要素を取り入れましょう。
- ・まち歩きのお後にお茶を飲みながら世間話をする時間をとるなど、適宜休憩を入れましょう。

○記録をとろう

- ・毎回の記録を整理しておく、次回におさらいができます。ワークショップ当日の様子が見えるよう、デジカメでの撮影も忘れずに行いましょう。

○備品をそろえよう

- ・ワークショップに必要なグッズをそろえましょう。

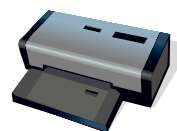
参加者の感想

まち歩きを行い、今まで気づかなかった交通事情に気づきました。



ここがポイント！

現地見学の際は、ポイントとなる場所など、とにかくたくさん写真を撮ることを心がけましょう。ワークショップの会場にプリンターを用意し、撮影してきた写真をその場で印刷して使うなどすると、意見交換が深まります。



グッズの例

意見交換のために用意するグッズ

模造紙、ふせん、カラーペン、サインペン、拡大地図 など

配付資料

当日のプログラム、前回のワークショップの結果、地図 など

その他（あれば便利）

名札、ホワイトボード、デジカメ、録音機器（カセット、ICレコーダー）、プリンター、ビデオ など

エコ交通マップの活用のポイント

○エコ交通マップを配ろう

- ・みなさんが力を合わせてつくったエコ交通マップは、きっとご近所の方などにも役立つものです。どんどん配ってみましょう。

○お出かけにはエコ交通マップを活用しよう

- ・お出かけのお供には、エコ交通マップを忘れずに！ マップを使って出かけてみると、また新しい発見があるはずです。

○エコ交通マップを更新しよう

- ・エコ交通マップを使っていると、いろいろ変えるところが出てくるはず！ 変えるところをメモしておいて、また、みんなでもっともっといいエコ交通マップをつくってみましょう。

マップづくりのお助けメモ

○お金がない

——→ まちづくり助成金等を活用しましょう。

(財) 名古屋都市センター まちづくり活動助成

(財) ハウジングアンドコミュニティ財団 NPO・市民活動団体の支援

(社) 地域問題研究所 活動助成

○会場がない

——→ 地域のコミュニティセンターや生涯学習センター等を活用しましょう。

○ワークショップの進め方を相談したい

——→ (財) 名古屋都市センターへ相談しましょう。

〒460-0023 名古屋市中区金山町1丁目1-1 金山南ビル 13階

調査課 まちづくり支援担当 (TEL: 052-678-2214)

○名古屋の交通について学習したい

——→ 名古屋市総務局交通政策室へ相談しましょう。

(連絡先は下記を参照)

エコ交通マップをつくってみたい方は

名古屋市総務局交通政策室（エコ交通マップ担当）まで

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1-1 TEL: 052-972-2213

